

令和7年度

東北防衛施設地方審議会開催

令和7年11月5日、航空自衛隊三沢基地において、令和7年度東北防衛施設地方審議会が開催されました。

東北防衛施設地方審議会は東北防衛局長の諮問に応じて、防衛施設に係る不動産の権利の対価の額や漁船の操業制限等による損失の補償額などに関する事項を調査審議し、必要と認める事項を建議する重要な責務を担っています。審議会の委員には、石川啓太郎会長（青森みちのく銀行取締役頭取）をはじめ、様々な分野において専門的な知識や経験を有する9名を任命しており、当日は7名の委員が出席しました。



審議会終了後航空自衛隊、米軍それぞれの施設見学を実施
(米軍F-16戦闘機前での集合写真)

今年度は、防衛政策の現状や課題と取り組みなどについて理解を深めることを目的として、令和7年版防衛白書の内容を解説したほか、当局が取り組んでいる具体的事例として三沢飛行場における第1種区域（住宅防音工事の助成対象区域）等の見直しについて説明を行い、委員から多くの意見や質問が出され、盛会のうちに終了しました。

その後、航空自衛隊三沢基地と米軍三沢基地の協力のもと、各部隊の概要説明や装備品見学が行われました。



北部航空方面隊司令官表敬



池松局長の挨拶



石川会長の挨拶



意見交換の様子



米軍による概要説明



航空機の見学